

都南浄化センター1号汚泥焼却炉「火入れ式」

北上川上流流域下水道事務所

都南浄化センター1号汚泥焼却炉は、供用開始から20年以上が経過して老朽化が著しいこと及び高温焼却が出来ないことから、平成25年度から更新工事を行ってきました。

既設焼却炉の撤去及び新たな焼却炉の据付が完了したことから、燃焼を伴う試運転の開始に先立ち、平成28年5月26日（木）に火入れ式が行われました。

火入れ式では、施工者である(株)神鋼環境ソリューション水環境技術本部長及び北上川上流流域下水道事務所長による「火入れ」を行い、施工者、関係者と共に施設の安全を祈願しました。



新たな1号汚泥焼却炉は、処理能力が60t/日となり、既設に比べ20%能力がUPします。

また、国内では3例目、東北では初めてとなる「循環式 高効率二段燃焼汚泥焼却炉」の採用により、高温燃焼（850度以上）が可能となり、ダイオキシン類や一酸化二窒素などの温室効果ガスが低減され、地球温暖化対策にも寄与します。

今後は試運転調整を行い、9月頃の供用開始を予定しています。

